

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善						
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R4年度 予算額 (千円)	R5年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R3年度 事業 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R3年度 局施策 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	
						指標名等	現状値 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度										中期 目標
I-2-(3)-② 技術・ 技能を 継承す る人材 の育成	I	⑧ ⑨ ⑩	明日の公共事 業を支える人 材確保・育成 事業	技術企 画課	建設業の若年就 業者の減少によ り、インフラの維 持管理に関する担 い手不足が懸念さ れるなか、建設技 術の魅力を発信 し、公共事業への 理解をより深める ことで、将来にわ たる建設業の人材 確保・育成を図 る。	建設業に対する関 心度（イベント参 加者アンケートに よる）	97% (H27年 度)	目標 80 %	実績 91 %	達成率 113.8 %	80%以 上 (R1年度 以降毎 年度)	継続	1,967	1,967	維持	5,400	順調	建設業の仕事体験イベント などの内容の充実を図ること で、より多くの方々に建設業 の魅力を伝え、建設業の人材 確保につながるよう、地元建 設業団体と連携しながら、継 続して事業を進めていく。 加えて、市技術職が「働きた い」仕事として選択される よう、そのイメージアップに つながる情報発信や職員の能 力開発を行う。	順調	建設業の魅力アップに向 け、引き続き、建設業の魅力 を伝える地道な広報活動が必 要であり、令和5年度も継続 して実施する。

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善					
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R4年度 予算額 (千円)	R5年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R3年度 事業 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R3年度 局施策 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
						指標名等	現状値 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度									
Ⅲ-1-(3)-④ 高度情報社会への対応	2	⑨ ⑩	公共工事関係部署のDX推進事業	技術企画課	「デジタル市役所」の実現に向けて、公共工事に関する部署の発注・契約・検査等の様々な業務のデジタル化をより一層推進する。	「公共工事関係部署のDX推進プラン」(公表案)の策定 ※指標廃止	目標	—	策定	「公共工事関係部署のDX推進プラン」を策定時に設定	—	—	—	—	—	順調	令和4年4月に策定した「公共工事関係部署のDX推進プラン」で設定した成果目標を達成するため、以下に取り組む。 (1) インフラDX (i-Construction) 研修について、市職員・市内建設業者それぞれのニーズに合った開催内容を検討する。 (2) 技術監理局が主催する研修について、原則、オンラインや動画配信を行う。 (3) 技術関係局からのWeb会議環境貸出依頼に対応できるよう、Web会議環境の適切な維持管理を行うとともに、Web会議マニュアルの更新を行う。 (4) 令和4年度に技術関係局を対象に実施した「テレワークに関するアンケート調査」の結果を踏まえ、テレワーク実施拡大を効果的に行うための方策を検討する。 (5) 技術関係局でのペーパーレス会議に対応できるよう、タブレット端末等の適切な維持管理を行うとともに、ペーパーレス会議マニュアルの更新を行う。 なお、工事情報共有システムの構築が令和4年度末に完了するため、令和5年度の事業費については減額となる。  【指標廃止・追加の理由】 令和4年4月に策定した「公共工事関係部署のDX推進プラン」において、指標である成果目標を新規で設定したものの。	順調	「公共工事関係部署のDX推進プラン」に掲げる成果目標を達成するため、各局が取組を確実に実施できるよう、「公共工事関係部署DX検討会議」にて以下のとおり取り組む。 (1) 本プランでの各取組項目の進捗状況について、ロードマップに基づいたフォローアップを行う。 (2) 各部署でのDX推進に係る取組について発表してもらい、公共工事関係部署にて先進的な事例を共有する。
							実績	—	策定済										
							達成率	—											
						インフラDX (i-Construction) 研修の受講者数(市内建設業及び市技術職員) ※指標追加	目標	330人 (R3年度)		420 人	500 人	660人 (R7年度末)							
							実績												
							達成率												
						技術研修のWeb活用率 ※指標追加	目標	19% (R3年度)		27 %	35 %	50% (R7年度末)							
							実績												
							達成率												
						オンライン会議の実施率(技術関係局) ※指標追加	目標	19% (R3年度)		32 %	45 %	70% (R7年度末)							
実績																			
達成率																			
テレワーク実施率(月1回以上実施) ※指標追加	目標	16% (R3年度)		32 %	48 %	80% (R7年度末)													
	実績																		
	達成率																		
紙の使用量(技術関係局) ※指標追加	目標	1900万枚 (R2年度)		1,700 万枚	1,400 万枚	R2年度比50%削減 (R6年度末)													
	実績																		
	達成率																		

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善							
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の 方向性	R4年度 予算額 (千円)	R5年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R3年度 事業 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R3年度 局施策 評価	R5年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	
						指標名等	現状値 (基準値)	R3年度	R4年度	R5年度	中期 目標										
Ⅲ-3-(3)-③ 企業の 地域活 動への 参画促 進	3	⑫	【施策評価の み】 競争入札参加 資格業者に対 する加点制度	契約 制度 課	【施策の内容】 本市の物品等供 給契約や建設工 事における競争 入札参加資格に おいて、地元企 業の地域での社 会貢献活動（子 育て支援、男女 共同参画、障 害者雇用、環境 配慮、防災活動 など）を評価し 、格付けの際に 加点すること により、契約制 度の面からも 本市重要施策の 推進を図る。	27% (H28年 度)	目標	29 %	29 %	29 %	29% (R5年 度)	継続	—	—	—	—	—	—	—	引き続き加点制度を実施する。	
							実績	30 %													
							達成率	103.4 %													
						38% (H28年 度)	目標	49 %	49 %	49 %	49% (R5年 度)										
							実績	50 %													
							達成率	102.0 %													
V-3-(1)-① 都市基 盤・施 設の適 正な整 備	4	⑬	公共工事安全 対策強化事業	検査 課	市が実施する公 共工事の安全対 策強化のため、 安全指導を専門 とする公共工事 パトロール隊を 設置し、事故の 抑制を図る。	74.6点 (R1年 度)	目標	75 点 以上	75 点 以上	75 点 以上	75点以 上 (R5年 度)	継続	953	926	維持	28,400	順調	—	建設工事従事者の不注意や確認不足等を原因とする公衆災害が多く発生しており、工事関係者の安全意識の向上を図るため、公共工事パトロール時の安全指導や出前講演等の安全研修を引き続き積極的に行う。	順調	公共工事における重大事故の発生を抑制し、市民と建設工事従事者の安全と健康を確保するため、市発注工事関係者への指導や安全研修を引き続き実施する。
							実績	74.7 点													
							達成率	99.6 %													
VI-3-(3)-② 建設リ サイクル の推 進	5	⑭	【施策評価の み】 建設リサイク ルの推進	技術 支援 課	【施策の内容】 北九州市発注の 公共工事を対象 に、建設副産物の 発生抑制や建設 廃棄物の再資源 化の徹底、再資 源化された建設 リサイクル資材 の利用促進に取 り組む。	99.9% (H28年 度)	目標	98 %	98 %	98 %	98% (毎年 度)	継続	—	—	—	—	—	—	—	令和4年度に引き続き、建設廃棄物の再資源化率の目標達成を目指す。	
							実績	99.3 %													
							達成率	101.3 %													